

2022年度「初等中等教育におけるGISを活用した授業に係る優良事例表彰」 選定結果について

地理情報システム学会では、初等中等教育現場においてGIS（地理情報システム）を実践的に活用した授業の普及・展開の契機とするため、授業において先導的な取り組みを実践している教員やグループ*を対象とする表彰制度を2010年度に創設し、今年も事例を募集いたしました。（募集記事のHP掲載：2022年4月1日、募集期間：2022年7月1日から8月31日／主催：一般社団法人地理情報システム学会、後援：国土交通省、一般財団法人日本地図センター、ESRI ジャパン株式会社、一般社団法人人文地理学会、日本地図学会、公益社団法人日本地理学会、毎日新聞社）

※初等中等教育現場において、GISを実践的に活用した授業に取り組んでいる教員以外の方も含みます。

その結果、7件の応募があり、9月13日に地理情報システム学会、国土交通省、文部科学省から構成する審査委員会を開催し、表彰事例を選定しましたので、以下の通り報告いたします。（敬称略）

【国土交通大臣賞：総合的な観点】

- ・四宮 博樹（徳島県立富岡西高等学校）

「GISを活用した地理的推理力を培うシミュレーションゲーム教材の開発と実践
—アナログとデジタルの融合—」

【地理情報システム学会賞：GISの効果的な活用の観点】

- ・濱島 優大（桜蔭学園）

「高校「地理総合」での防災教育プログラムの開発と実践
—地理情報システム（GIS）を利用した防災ウェブマップ作成を通して—」

【日本地図センター賞：地図の効果的な利用の観点】

- ・井上 貴司（山陽学園中学校・高等学校）

「『シビックテック』を活用した海洋ごみ問題解決への挑戦
～『SDGs×ICT』による市民協働意識の醸成～」

【ESRI ジャパン賞：GISの教育的な利用の観点】

- ・群馬県立尾瀬高等学校自然環境科（代表：松井透・荒井裕二）

「地域の自然環境を他者に伝えるためにGISを活用する
～試行錯誤で取り組んだ3ヶ月間の軌跡～」

なお、受賞者は、2022年10月29日（土）～30日（日）に沖縄産業支援センター（那覇市）とオンライン（Zoom）を組み合わせたハイブリッドで開催される第31回地理情報システム学会研究発表大会内の企画セッション（10月30日（日）13：50～15：50 <https://www.gisa-japan.org/conferences/>）において表彰するとともに、事例発表をしていただく予定です。

以上